

みやけの風

第 44 号

平成 13 年(2001年) 9 月 1 日(土)発行
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター
 発行責任者：上原 泰男
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ10階
 東京ボランティア・市民活動センター気付
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646
 E-mail：tokyocenter@cmpo.org

「9月1日かぁ」「だからぁ」「防災の日が『全島避難の日』っていうのも、意味が深いよな」「まったくな」「ンでも、この日に地震だ、噴火だと日本中の人に考えてもらうのも必要なことだじよな」「だから」全島一時帰宅を来週に控え、9月30日の第3回島民ふれあい集会開催に向け、いよいよ島民実行委員会も立ち上がりました。

みんなの声

(1)

8月23日町田市民フォーラムに於いて、2回目のいきいき健康教室が開催されました。今回、町田会会員の皆様が前回は上回る15名が参加されました。中央診療所の熱中症に付いての講話が有り、看護婦さんによる血圧測定が行われました。

“あじさいの里”の肥後さんより、疲れをとるための食事の取り方、夏ばてを解消するための有効な食物の摂り方などの話の後、唱歌、村祭り、海などを全員で合唱し和やかな内に予定時間を終了しました。意義の有る時間を過ごす事が出来ました事を感謝致して居ります。

終了後の皆さんの会話はもっぱら、一時帰島の事に集中しており、如何に皆さんが此の事を待ち望んで居たかが、伺い知れるひとときでした。

次回、より多くの会員が参加するように致したいと思っております。

ベランダの 鉢植えに咲く 赤き花
 我が故郷の 庭にも咲かん

(町田会代表 飯沼正義)

【お知らせ】

先日、皆様に郵送した『三宅島島民電話帳移転者リスト 2001.8.20』に掲載されている、肥後政幸さんの電話番号は、正しくは 042-534-7475 です。

043-524-7475 は、全く関係のない会社の FAX 番号ですのでお間違いのないように!!!

(2)

当選した10名の子供たちが待ちに待った、阪急交通社のご招待による『イチロー&佐々木選手応援ツアー』に、東京センターよりウラベが付き添いとして参加させていただきました。小学生も中学生もそれぞれに頼りない私を支えてくれ、シアトルでの休日を楽しむことが出来ました。子供たちも、アメリカメジャーリーグのすごさやイチロー&佐々木選手の活躍を目の当たりにしたり、阪神大震災の遺児たちとの交流などいろいろと意義深い体験ができたのではないかと存じます。

今回の機会を与えてくださった阪急交通社、とりわけ、添乗員としてお世話になった村木さんに心から感謝いたします。子供たちありがとう!! 作文、よろしくね!!

(東京センター ウラベノリコ)

(3)

YOUMAGA

阪急交通社は、「あしなが育英会レインボーハウス虹の家」と、「三宅島社会福祉協議会」を通じて、阪神・淡路大震災と三宅島噴火により被災者となった子供たちを「シアトル・ツアー」に招待。大勢の子供たちの中から抽選で選ばれたという20名の子供たちは、8月19日から3泊5日の日程で、セイフコ・フィールド・ツアー、航空博物館見学、マリナーズ観戦などを楽しみます。マリナーズ観戦を翌日に控えた20日(月)『YOUマガ』スタッフも、セ

イフコ・フィールド・ツアーに子供たちと一緒に参加。彼らの密着取材を行いました。

昨日シアトルに到着し、シアトル市内観光を行ったと語る子供たち。長旅の疲れか、時差の違いによる影響か、最初に出会った時は無口で、少し疲れている様子でした。しかし、マリナーズの日本人ツアー・スタッフについてフィールド内を見て回るうちに、写真を撮ったり、スタッフに話しかけたり、おどけたり、笑ったり、日本とは違う球場の様子を楽しんでいる様子がよく見かけられるようになりました。(中略)ツアーには、阪神・淡路大震災の被災児10名と、三宅島の噴火により被災した子供たち10名が参加しましたが、三宅島の子供たちは、言葉数が少なく、ツアーの感想を聞いても「すごい」と一言答えてくれただけ。そんな子供たちの「先生」である、三宅島災害・東京ボランティア支援センターのウラベさんは、「三宅島の子供たちは、島から避難して1年しか経っていませんし、ちょうど最近、一時帰島ができるという報告を受けまして、親御さんも不安定な状態が続いています。それに、もともと島の子供なので、シャイな子が多いんですよ(笑)」と教えてくれました。

明日はいよいよマリナーズ観戦。短い滞在ですが、後に思い出に残る旅になりますように。

(取材文 朋子オブライアン)

<http://www.youmaga.com>

三宅島支援東京センターより

(1) 3

第3回ふれあい集会の準備会が8月26日(日)行なわれ、31名の島民の出席をいた
特養ホーム「あじさいの里」の

いきいき健康教室

9月テーマ:『避難から一年』

お問合せ先:あじさいの里
TEL:03-3459-8388

日 程	時 間	場 所
9月4日(火)	14:00~15:30	北区桐ヶ丘ボランティア会会議室
9月5日(水)	14:00~15:30	南大沢保健福祉センター
9月6日(木)	14:00~15:30	東久留米西団地集会所
9月7日(金)	14:00~15:30	武蔵村山三宅島会ふれあいセンタ

だき、その中から集会の島民実行委員長と副委員長が選出されました。委員長は前回に引き続き、品川区在住の津村明さん、副委員長は八王子在住の鈴木博さんにお引き受けいただきました。今回の準備会では、

- ・ この準備会で出ている率直な意見がそのまま村との話し合いの中に生かせれば。ふれあい集会を経て個別の課題に対応する行政説明会や住民懇談会等につなげていったらどうか。地域ごとに意見集約をして全体で共有するやり方。
- ・ 重い課題は重い課題として、やはり当日は、“ふれあい”を主眼としてゆく。
- ・ 行きたくとも行けないという人を一人でも多く来てもらえるような仕組み作り。支援ボランティアのみならず、島民相互に支えあう仕組みを!

など、集会の内容についての活発な意見交換が行なわれました。集会をより具体的な形で充実させ、島民のための島民による集会を成功させるため、全世帯の一時帰宅直前の慌しい時期とは存じますが、ぜひ実行委員会にご参加ください!

9月5日(水)午後7時~

飯田橋セントラルプラザ11階会議室にて

(2) No.542

三宅島社会福祉協議会の職員で、ケアマネージャーである三谷彰さんが執筆した、「三宅島島民たちの一年」が、この度、岩波ブックレットから刊行されました。

昨年6月の最初の噴火から始まったこの1年を社協職員として、また、一島民としての体験を振り返っているものです。購入ご希望の方は、お近くの書店で、岩波ブックレット No.542 と言って、ご注文ください。